



林野庁北海道森林管理局

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター

発行日 2008/08/01

インフォメーション

当ふれあいセンターは国有林をフィールドとして北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取り組む NPO 等の活動支援や森林環境教育等の提供、技術指導などを行っています。

森林環境教育の取組 先生たちの研修会を 支援

七月四日、標茶町内の教職員十三名による理科部会の研修が、雷別地区自然再生事業地と中茶安別小中学校の学校林で行われました。

雷別では「雷別地区自然再生事業」の概要や、市民参加の取組みについて説明するとともに森林環境教育への活用についても紹介しました。参加者からは「雷別では針葉樹を植えないのか」「鹿防護柵は雪が積っても効果が有るのか」等の質問がありました。また、自然再生の取組へ期待を寄せる声も聞



(中茶安別小中学校の学校林における森林教室の進め方を説明)

かれました。

中茶安別小中学校の学校林では、学校林を活用して取り組んでいる総合学習の中で、当センターが支援している森林教室の内容について紹介しました。

遊学館の野外イベント を支援



(お母さんと一緒に炭窯にカラマツの炭材を入れています。重たいぞ～！)

七月六日、釧路市子ども遊学館主催の野外体験イベントがパイロットフオレストで行われ、小学生の親子など十八名が参加しました。午前中はドラム缶を使った簡易炭窯による炭焼き体験と小さなブリキ缶を使った花炭作り体験を行いました。花炭作

りでは、カラマツ等の細い葉が原型のまま炭に焼けているのに驚きの声が上がりました。午後には山火事の



(山火事は消えたかな？汗をかいて奮闘中！)

消火道具（ジェットシューター）を使って森の消防士体験を行い、子供達による的当て放水が好評でした。この日は天候にも恵まれ、樹木観察など森の中で緑を満喫した一日となりました。

「森林ふれあい講座」 を実施

七月二八日、学校の先生方を対象とした森林ふれあい講座をパイロットフオレストで実施しました。今回は先生方のお子さんたちも一緒に参加できるように夏休みに設定し公募したところ、先生等五名とお子さん三名の参加がありました。ふれあいセンターで実施している簡易炭窯での炭焼きや花炭作りの方法を指導しまし



(ここは別寒辺牛湿原になります。)

た。また、カミネツコンを利用した植樹も体験してもらいました。午後からは、別寒辺牛湿原につながる木道やパイロットフォレストを一望できる望楼から森林の果たす役割などについて説明し、このパイロットフォレストを活用した森林環境教育への取り組みをお願いしました。

幼稚園児を対象に 森林教室を実施

七月三十一日、釧路短大付属幼稚園から園児に森の話をしていただきたいとの依頼を受け、ミズナラの巨木のある標茶町の国有林と釧路町の別保

公園で森林教室を実施しました。紙芝居を利用して森や森に棲む動物たちの話を真剣な眼差しで聞いたりタネの模型を使って夢中で遊んだりしていました。お母さん、お父さんと一緒に楽しい夏休みの一日だったのではないのでしょうか。



(ミズナラの巨木に登りました。
「ちっとも怖くありませんよ〜。」)

自然再生事業の取組 森林再生小委員会が 開催される

七月四日(金)、釧路湿原自然再生協議会第八回森林再生小委員会が開催されました。釧路湿原自然再生協議会は、釧路湿原の自然再生を推進するため平成十五年に設立された組



(雷別での現地検討会の模様)

織で、百名を超える多様な主体によって構成されています。午前の室内討議には十一名の委員が参加し、当センターからは、雷別地区自然再生事業における平成十九年度実施結果平成二十年度事業予定、モニタリング指針(案)作成について報告を行いました。午後からは小雨が降るあいにくの天気でしたが、達古武地区及び雷別地区で現地検討が行われ、活発な意見交換がなされました

広葉樹の苗木を自宅の庭で預かっていただけませんか。

雷別地区自然再生事業の森林再生に用いる広葉樹の苗木を育成するの森産苗木を育てたい方は、お問い合わせください。



釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター

〒085-0825 釧路市千歳町6-11

TEL 0154-44-0533 FAX 0154-41-7305

URL http://www.hokkaido.kokuyurin.go.jp/fc/kushiro_hp/

E-mail h_kushiro_f@rinya.maff.go.jp